



いしかわかずひさ 議員
さんむ21 石川和久

防災対策について

問 台風15号等の災害時には、市民の望む対応と、行政の対応が噛み合っていないように感じました。どこに原因があったか伺います。

答 市長 市民のニーズは承知していますが、行政側のハード面、ソフト面の整備が、結果的に遅れたと考えています。災害時の情報伝達の重要性は認識しており、そのための準備を進めています。

避難所では、職員内での市民ニーズへの対応が徹底できておらず、至らなるところがあったと思います。ただ、行政にも限界があることもよくわかりました。公助における限界を市民の皆さんにも正しく認識していただき、自助、共助の重要性を伝えていくことも重要であると考えています。今後は、スピード感を持って、各種整備を行っ

ていきたいと考えます。

問 市の地域防災計画は、平成26年9月に策定され、5年経過しています。計画の修正・見直しは喫緊の課題と考えますが、進捗状況について伺います。

答 総務部長 想定外の風水害が発生しており、地域防災計画を現状に即したものに修正していく必要があります。現在、人的、物的支援の確保のための受援計画を策定中です。また、風水害に特化したマニュアルの必要性を感じています。職員の行動に資するマニュアルの作成を行い、その後、地域防災計画の見直しを行う予定です。

問 自主防災組織の更なる強化、取り組みについて伺います。

答 総務部長 区長や自治会長、自主防災組織の長の方で、災害対応に戸惑われた方もいると聞いています。このような方に、実際に活動した区長や自治会長等に話をしていただき、活動を促していきたいと考えます。

令和2年度当初予算について

問 毎年更新する過去最大予算、この状況を市長はどう考えているのか伺います。

答 市長 毎年予算が増えている状況です。今やらなければならぬことを確実に実行しながら、予算確保に

も努めていきたいと思えます。

問 予算の削減につながる新たな取り組みを予定しているか伺います。

答 総務部長 令和2年度は、重点分野に手厚く予算を配分するとともに、部ごとに予算額を設定し、資源配分調整を行うことで、各部長の責任のもと、各事業費の精査を行うことが可能となり、経費の節減が見込まれます。

問 予算編成に取り組みに当たり、当初予算編成方針が示されたことと示したのか伺います。

答 市長 令和2年度の予算編成方針については、国や県の動向を踏まえ、歳出の抑制を前提とする予算編成を考えました。事業の優先度や緊急性、費用対効果などを検証し、最小限の予算で、最大限の効果が発揮できるように指示しています。

重要施策は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う聖火リレーや事前キャンプの実施等の取り組み、さんむ医療センターの建て替え整備では、来年度実施設計に取りかかる予定ですが、医療体制の充実等の取り組みがあります。また、三世代同居等支援事業、企業誘致促進事業を、新規事業として予定しています。



たかちおまさよし 議員
さんむ21 高知尾正義

観光行政について

問 県立蓮沼海浜公園の施設は、開設から40年半ばを経過しているものもあり、老朽化が進んでいますが、その対応について伺います。

答 都市整備課長 県では、蓮沼海浜公園に関して公園施設長寿命計画に基づき、プール装置の一部更新等、施設の補修および更新を行っています。

問 公園の隣接地に広がる県有の保安林は、白砂青松100選にも選ばれる景勝地ですが、東日本大震災の津波で、大きな被害を受けました。各団体等の協力もあり植樹が進められていますが、今後の計画について伺います。

答 経済環境部長 県では九十九里エリア全体の植栽等を計画しており、市内の海岸、県有林の植樹等の進捗状況は、約73%です。残りの植栽については、ボランティア団体等の協力を得